

- まだ仮称のサービスです。
- イメージカラー等も未定です(今回は無味乾燥色)。
- 皆さんと一緒に作りあげていきます！！

目次

- 1 背景及び概要
- 2 サービス方針
- 3 対象
- 4 サービス内容
- 5 サービス範囲
- 6 WEKO/NetCommons等
- 7 スケジュール
- 8 FAQ

1-1 背景

学術審議会
作業部会の
『審議のま
とめ』

「独自でリポジトリの構築・運用を行うことが難しい機関...
が共通利用できる共用リポジトリのシステムを構築することにより、リポジトリへのコンテンツの登載や公開が容易になるような仕組みを早急に検討する必要がある。」

第3期CSI
委託事業
公募要領

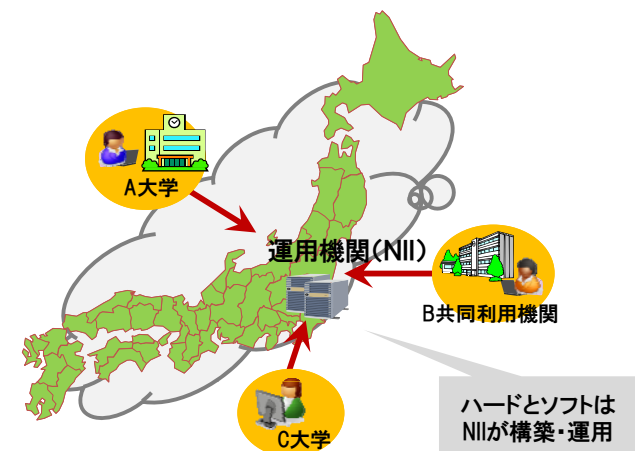
「機関リポジトリの構築を新規に検討している機関向けに、
システム基盤(HW・SW)を第3期(H22-24)中に整備し、
リポジトリシステム構築の選択肢として提供することを計画しています。」



NIIのミッションとしてのIR構築連携推進
- IR数、整備率の向上
- CiNii、JAIROへのコンテンツ収集

1-2 概要

- NIIが開発した機関リポジトリソフトウェア“WEKO”をベースに、共用リポジトリのシステム環境を構築する。
- 大学等向けに、リポジトリのシステム環境を提供し、運用を支援する。



2 サービス方針

- 1 短期的な実証実験ではなく、長期的なサービスを保証する。
- 2 利用料は、当面、無償とする。
- 3 原則、1大学につき、1環境を割り当てる。
- 4 各大学の利用範囲は、WEKO管理者権限でできる範囲に限定する。
- 5 ユーザコミュニティの形成を支援する。
- 6 新規に機関リポジトリを構築する機関を優先する。

5

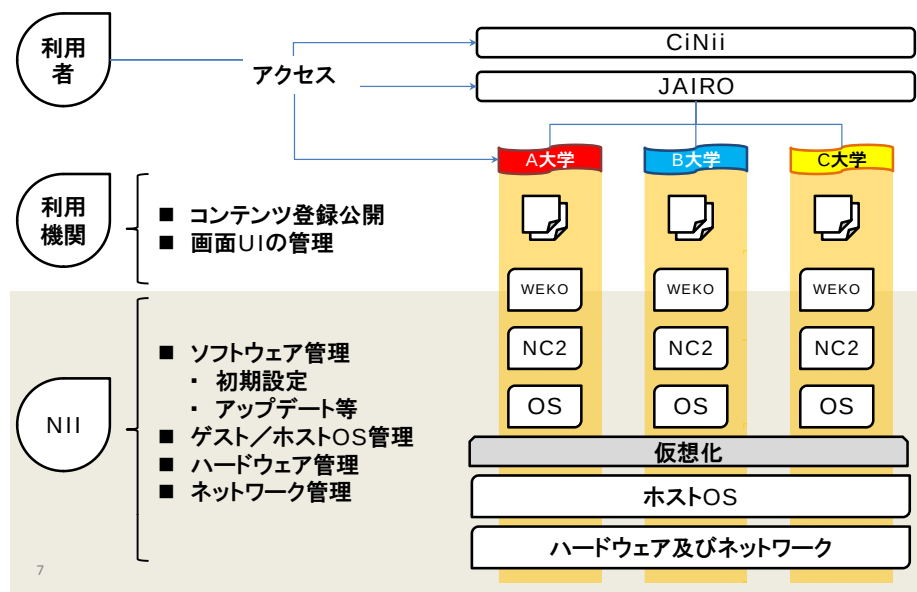
3 対象

次の条件をすべて満たす機関を対象とする。なお、申込み多数の場合は、公開時期の状況等の観点から、個別に対応を検討する。

- 1 日本国内の大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関（その他、国立情報学研究所所長が適当と認めた機関）
- 2 機関リポジトリを新規に構築する機関
又は、地域共同リポジトリの構築を検討している機関
- 3 今後1年以内に試験又は本公開計画の機関

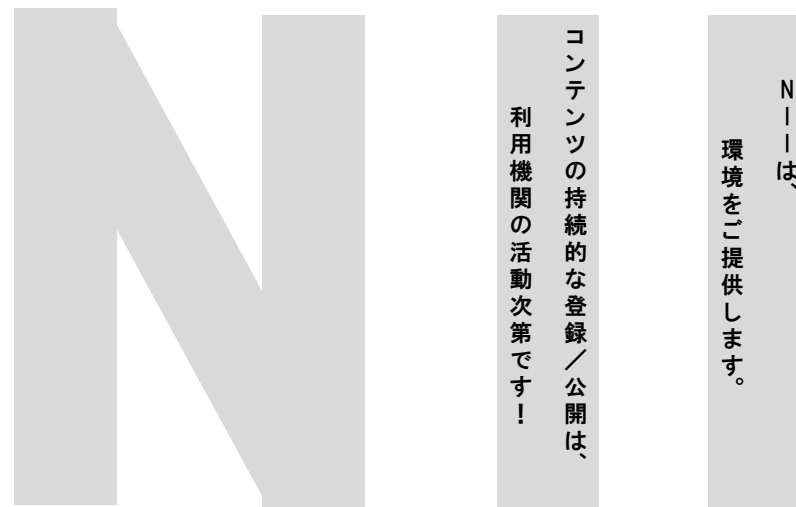
6

4 サービス内容



7

5 サービス範囲



8

5-1 NIIが提供／管理するサービス範囲

区分	項目	内容
基本	稼働時間	原則、24時間365日(メンテナンス等除く)
	ディスク容量	申請内容をもとに割当て
	URL	http://〇〇〇.repo.nii.ac.jp (応相談)
	ソフトウェア	WEKO(ウェコ)のみ ~機関別のカスタマイズは無し
管理	ソフトウェア管理	初期設定、アップデート、メンテナンス
	ハードウェア管理	OS、ハードウェア、ネットワーク管理
サポート		ユーザ参加型のコミュニティサイト、個別問合せ対応

※ サービスレベルの詳細については、別途定める。

9

5-2 利用機関が管理する／利用できるサービス範囲

区分	項目	内容
コンテンツ登録公開	登録／入力	コンテンツ／メタデータの個別又は一括登録が可能です
	公開	通常公開又は公開日等の制御設定が可能です
	検索等	フィールド指定検索、全文検索、ダウンロード、各種フォーマットでのメタデータエクスポートが可能です
	セルフアーカイブ	ユーザ登録、査読承認の機能が利用できます
コンテンツ流通	ユーザインタフェース	画面構成等をブラウザ上で変更できます
	JAIRO/CiNii連携	junii2準拠のメタデータも出力でき、JAIRO/CiNii等とのデータ連携が可能です
	パーマリンク	パーマリンク(固定URL)が付与されます
その他	統計データ	ブラウザ上で統計データが確認できます
	データ保管	自機関にて、登録前コンテンツの保管をお願いします(NIIでも、定期的にデータのバックアップを行う予定)

10

6-1 WEKOとは



WEKOとはスワヒリ語でリポジトリを意味します。

WEKOは国立情報学研究所が開発しているNetCommons 2上で動作するリポジトリモジュールです。

文献だけではない研究成果がどんどん共有されるような学術社会を作りたいという願いを込めて開発しています。

NC2のいろんな機能と組み合わせながら、新しい研究スタイルの構築を目指します。

<http://weko.at.nii.ac.jp/>



11

6-1-1 WEKO画面例 (1)

12

6-1-2 WEKO画面例 (2)



13

6-2 NetCommonsとは

✿ HPを作るための部品(=モジュール)を詰め合わせたシステム

✿ リポジトリソフトウェアWEKOも部品の一つ

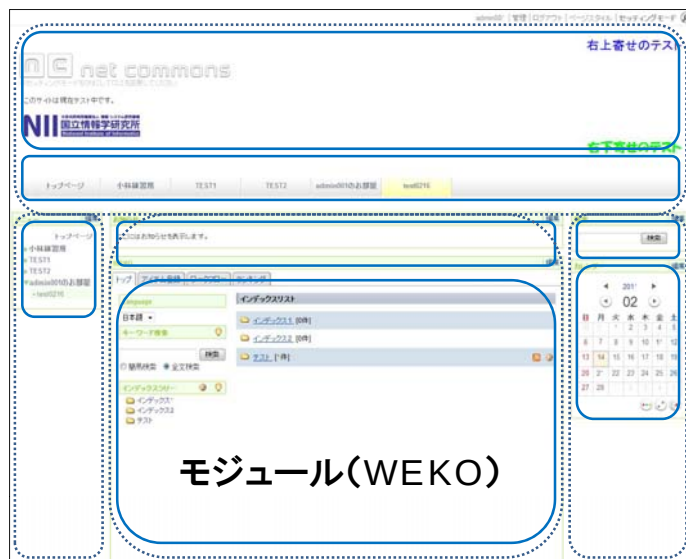
NetCommonsは、CMS(Contents Management System)とLMS(Learning Management System)とグループウェアを統合したコミュニティウェアです。

<http://www.netcommons.org/>



14

6-2-1 モジュールの配置を変更する等、大学独自の「顔」をつくる



15

6-3 JAIRO連携とは

機関リポジトリのポータルサイトから横断検索され、ヒット件数アップ!



16

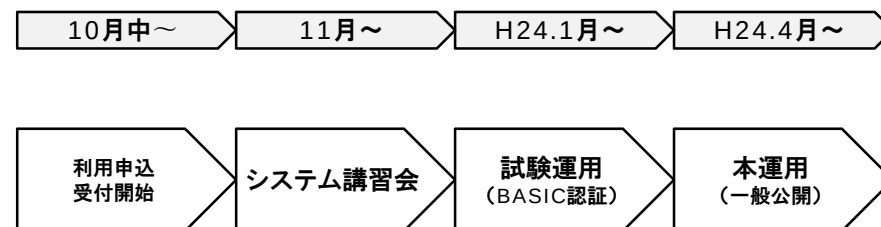
6-4 CiNii連携とは

論文検索サイトの対象になり、さらにヒット件数アップ！！



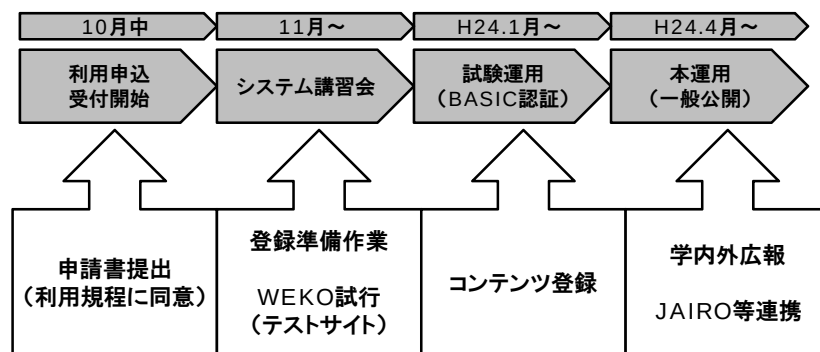
7 スケジュール

利用申込受付を10月中に開始し、来年度、本格運用する予定です。



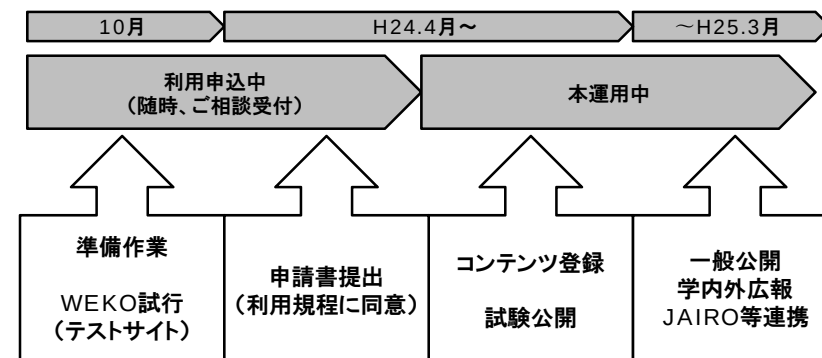
7-1 シナリオA

来年4月に公開する



7-2 シナリオB

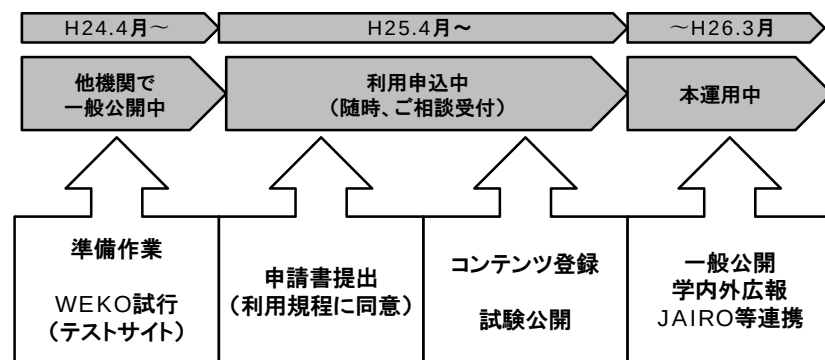
来年度内に公開する



※ 利用機関が多数の場合等については、応相談

7-3 シナリオC

準備が整っておらず、公開は2年後になる



※ 利用機関が多数の場合等については、応相談

21

8-1 FAQ-001

やりたいのだが、そもそも、ヒト・モノ・カネがない。

共用リポジトリサービス(仮称)は、
そんなあなたに、最適なソリューションです。

22

8-2 FAQ-002

学内紀要を公開したい。

WEKOを利用すれば、
巻号単位での管理も容易ですし、
紀要の目次ページや表紙画像なども、
きれいに公開することができます。

23

8-3 FAQ-003

学術コンテンツ登録システムを使って紀要を公開している。

OR

学位論文、科研費報告書、紀要等のコンテンツが、学内で分散して管理されている。

共用リポジトリサービスを利用すれば、
一元的に(多様なコンテンツを搭載可)、
大学独自の顔として(画面UIの変更)、
学内コンテンツを発信できます。

24

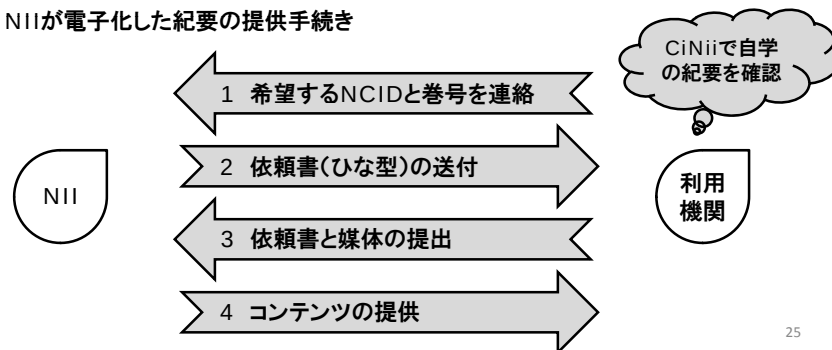
<参考> 研究紀要のコンテンツ提供

国立情報学研究所で電子化、公開した研究紀要のコンテンツを大学等の情報発信を支援する一環として各大学等に提供しています。

対象となるコンテンツは、各大学等にて著作権処理を完了して学術コンテンツ登録システムへの登録申請を済ませている研究紀要です。

< http://www.nii.ac.jp/irp/archive/cont_supply/ >

※ NIIが電子化した紀要の提供手続き



25

8-4 FAQ-004

自機関は構築済みだが、共同リポジトリを計画している。

地域や主題別にコミュニティを形成する活動は重要です。
基本は1機関ー1WEKOですが、
個別にご相談ください。

26

8-5 FAQ-005

ある地域共同リポジトリに参加中だが、他の共同リポジトリとして使いたい。

地域や主題別にコミュニティを形成する活動は重要です。
ただし、リポジトリ間でデータ重複が生じてしまいますので、
まずは、参加されている共同リポジトリ間にご相談ください。

27

8-6 FAQ-006

大学ではないが、学術情報のリポジトリとして構築したい。

大学のみに限定している訳ではありません。
個別にご相談ください。

28

コンテンツ作成経費は支援されないのだろうか…。

これまでは、CSI委託事業の枠組みで支援させていただきました。
今後については、検討中です…。

民間のサービスレベルで、無償サポートして欲しい。

民間並みに、個別のきめ細やかな対応はできないと思われます。
民間事業者さんともご相談ください。

共同リポジトリの参加館の環境を移行したい。

コミュニティ活動自体は継続されることを期待します。
参加館同士での合意があるようであれば、個別にご相談ください。
データの移行作業自体は、利用機関でお願いします。

質疑や個別相談は、後ほどゆっくりと。

< co_ir@nii.ac.jp >